

コミュニティデザイン学
プログラムの教育における
3つのポリシー

1.ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

- ・ 持続可能な豊かな地域社会の創生を支える新しい課題を解決するために、身近なコミュニティから世界規模のソフト面やハード面に関する高度な専門知識・技術を修得
- ・ 多様な人々が共生し持続可能な人間社会や社会環境をデザインするための学際的な思考力と実践力を修得
- ・ 社会デザインに関して、多様な人々の協働及び学際的な連携を推進するための情報発信力とコミュニケーション能力を修得
- ・ 社会デザインに関する高度専門職業人としての倫理観を修得

2.カリキュラム・ポリシー（学修・教育目標を達成するための教育体系）

【教育課程編成の方針】

ディプロマポリシーとして掲げた修了認定の基準を実現するため、高度な学際的思考力・実践力や境界領域・異分野の専門知識・技術を養成するとともに、研究テーマに関連した学位プログラム間の連携・融合を図るカリキュラム編成・研究指導を実施する。

【教育内容の学修方法】

次に掲げる科目を配置し、これらを事例研究、グループワーク、フィールドワーク、ワークショップなどの方法により主体的な学修を行う。

- ・ コミュニティをデザインするために必要不可欠な、学術理論を学際的な視点から高度に理解するための科目を配置
- ・ コミュニティにおける多様な実践を学際的な視点から問い直し、その知見を現場に還して展開するための科目を配置
- ・ コミュニティを対象とした応用研究分野における学説や、学術研究の方法論に関する科目を配置
- ・ 専門科目を通じて修得された能力を高度な次元で統合し、多様化するコミュニティにおけるテーマに向き合い、現実的な問題解決の方法と理論について実践知の考察を通して修得する特別演習・コースワークを配置

研究指導に当たっては、主指導教員1名と副指導教員2名の計3名を配置し、この内、第1副指導教員は学位の専門性を担保するために同じ学位プログラムの教員から、第2副指導教員は、専門分野に対して境界領域や学際領域の観点から学生の研究進捗や専門能力の修得に対して指導を行い、最終的に高度な専門力と実践力を身に付けさせる。

【学修成果の評価方法】

学修成果の評価は、授業科目ごとに定める達成目標に応じ、科目の態様に従って、試験、レポート、作品、発表などにより評価する。修士論文及び特定の課題についての研究成果に係る評価は、大学院学位論文等評価基準（博士前期課程）に基づき評価する。

3. アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【求める学生像】

- ・ 多様な人々が共生し持続可能な人間社会や社会環境のデザインに関する学 修と研究に必要な基礎学力を有する人
- ・ 社会デザインに関する分野の専門能力を高めながら、創造的な能力を身に付けたい人
- ・ 社会デザインを通じて地域社会に貢献することに強い関心と意欲を持つ人

入学者選抜の基本方針については[こちら](#)